

特集

分娩時出血への対応

産科危機的出血への 対応ガイドラインの紹介

分娩時大量出血への対応は母体救命における最重要課題の1つであり、2010年4月には日本産科婦人科学会など5学合同による「産科危機的出血への対応ガイドライン」が制定されました。本特集ではガイドラインの紹介とともに、助産師が理解しておかなければならない分娩時異常出血と、その観察のポイントおよび対応について解説していただきます。